

瀬戸内国際芸術祭2010

Setouchi International Art Festival 2010

総 括 報 告

平成 22年 12月 20日

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

目次

1. 実施概要	1
2. 経緯	3
3. アート作品	4
4. 概況	9
5. 来場者の状況	10
(1) 来場者数	10
(2) 来場者の傾向	12
6. 作品鑑賞パスポートの販売状況等	14
7. イベントの状況	15
(1) 主催イベント等	15
(2) 「市町の日」イベント	19
8. 広報の状況	20
(1) パブリシティの実績	20
(2) 地元メディアでの長期特集	21
(3) 国内主要メディアでの掲載・放映実績	21
(4) 海外メディアでの掲載・放映実績	22
(5) 広告の状況	23
(6) パブリシティの広告費換算	24
(7) ウェブサイト等	24
(8) 公式ガイドブック	27
(9) 来場者の情報源	27
9. こえび隊の状況	28
10. 交通の状況	29
(1) 海上交通の整備	29
(2) 島内交通の整備	30
(3) 『芸術祭フリー乗船2日券』	30
11. 実行委員会の収支状況	31
12. 雇用創出の状況	32
13. 来場者の滞在状況等	33
(1) 滞在状況	33
(2) 観光地への訪問	33
14. 芸術祭に対する評価	34
(1) 島民の評価（意見交換会等から）	34
(2) 島民の評価（島民アンケートから）	36
(3) 来場者の評価（来場者アンケートから）	37

1. 実施概要

名 称	瀬戸内国際芸術祭 2010 「アートと海を巡る百日間の冒険」
開催期間	2010年7月19日(海の日)～10月31日(日) 105日間
会 場	1 高松港周辺 2 直島 3 豊島 4 女木島 5 男木島 6 小豆島 7 大島 8 犬島
テ ー マ	海の復権
主 催	瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長	: 香川県知事 浜田恵造
名誉会長*1	: 前香川県知事 真鍋武紀
副会長	: 香川県商工会議所連合会会長 竹崎克彦*2 高松市長 大西秀人
総合プロデューサー	: 福武総一郎 ((財)直島福武美術館財団理事長)
総合ディレクター	: 北川フラム (女子美術大学美術学部教授)
構成団体	: 香川県、高松市、土庄町、小豆島町、直島町、(財)直島福武美術館財団、(財)福武教育文化振興財団*3、香川県市長会、香川県町村会、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、国立療養所大島青松園*4、四国経済連合会、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、(社)香川経済同友会、香川県農業協同組合、香川県漁業協同組合連合会、(株)百十四銀行、(株)香川銀行、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、香川県文化協会、(財)四国民家博物館、(社)香川県観光協会、(社)日本旅行業協会中国四国支部香川地区会、(財)高松観光コンベンション・ビューロー、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合、四国旅客鉄道(株)、高松琴平電気鉄道(株)、香川県旅客船協会、(社)香川県バス協会、香川県タクシー協同組合、(財)香川県老人クラブ連合会、香川県婦人団体連絡協議会、(社)日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会、香川県青年団体協議会、さぬき瀬戸塾 [オブザーバー] 岡山市、玉野市*5、岡山県商工会議所連合会、岡山大学

*1 平成22年10月14日から

*2 平成22年11月1日から

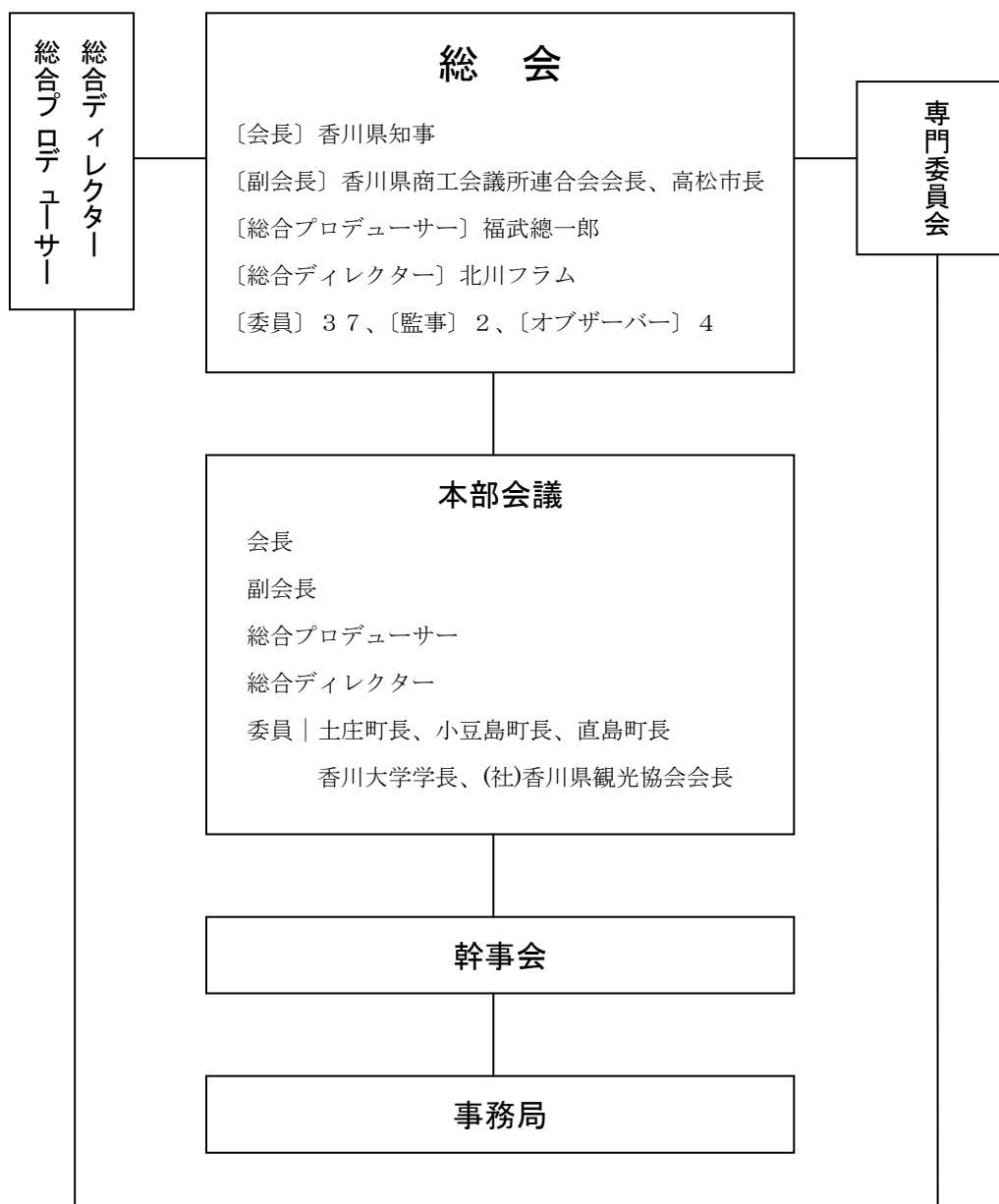
*3 平成21年3月20日(第3回総会)から

*4 平成22年3月30日(第5回総会)から

*5 平成20年11月11日(第2回総会)から

45団体 (うちオブザーバー参加：4団体)

実行委員会組織図



2. 経緯

平成 16 年度	若手職員(香川県)による政策研究『『現代アート王国かがわ』の確立』で「アートアイランド・トリエンナーレの開催」を提言
平成 17 年 3 月	直島福武美術館財団が「瀬戸内アートネットワーク構想」を発表、5 年毎に複数の島々を会場とする文化芸術イベントを提唱
平成 18 年度	香川県観光交流局のアートツーリズム事業において、直島と高松、小豆島、丸亀、坂出を結ぶ航路便「アートシャトル」を実験運航
平成 19 年 9 月	香川県議会 9 月定例会において芸術祭への参画を表明

平成 20 年 4 月 25 日	実行委員会設立総会
平成 20 年 11 月 11 日	実行委員会第 2 回総会 「瀬戸内国際芸術祭基本計画」策定
平成 21 年 3 月 20 日	実行委員会第 3 回総会 「瀬戸内国際芸術祭実施計画」策定
平成 21 年 12 月 21 日	実行委員会第 4 回総会 「瀬戸内国際芸術祭詳細計画(素案)」発表
平成 22 年 3 月 30 日	実行委員会第 5 回総会 「瀬戸内国際芸術祭詳細計画」策定
平成 22 年 7 月 19 日	瀬戸内国際芸術祭 2010 開幕
平成 22 年 10 月 1 日	実行委員会第 6 回総会(書面表決) 名誉会長の設置
平成 22 年 10 月 31 日	瀬戸内国際芸術祭 2010 閉幕

3. アート作品

- 瀬戸内国際芸術祭 2010 へは、18 の国と地域から 75 組のアーティスト・プロジェクトと 16 のイベントが参加した。
- このうち香川県関係者は、76 作品のうち 8 作品、イベント等で 6 件に参加した。

アート作品・イベント等一覧

〔凡例〕




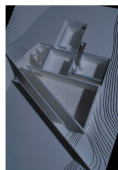
●は香川県関係者 財団は(財)直島福武美術館財団が設置 BHは(株)ベネッセ・ホールディングスが設置
 継続は芸術祭会期後も継続して公開する作品 (ただし、継続 A は 22 年 12 月まで継続公開、継続 B は 23 年 3 月まで継続公開。なお 23 年 4 月以降は未定)

高松 | Takamatsu

- 1  椿昇
Noboru Tsubaki
“PROM”
Prosthetic Restoration of
Our Memory
- 2  大巻伸嗣 継続
Shinji Ohmaki
Liminal Air · core-
- 3  椿昇
Noboru Tsubaki
高松うみあかりプロジェクト ●
Project for Sea-Light
in Takamatsu















直島 | Naoshima

- 4  大竹伸朗 / graf 財団 継続
Shinro Ohtake / graf
直島銭湯「I♥湯」
Naoshima Bath / I♥湯
- 5  千住 博 BH 継続
Hiroshi Senju
石橋/空の庭/ザ・フォールズ
Ishibashi / Garden of Ku
/ The Falls
- 6  須田悦弘 BH 継続
Yoshihiro Suda
基会所/椿
Gokaisho / Tree of Spring


- 7  川俣 正
Tadashi Kawamata
向島プロジェクト「島から島を作る」
Mukaijima Project:
Make Island From Island
- 8  テレジータ・フェルナンデス BH 継続
Teresita Fernandez
ブラインド・ブルー・ランドスケープ
Blind Blue Landscape
- 9  杉本博司 BH 継続
Hiroshi Sugimoto
光の棺/苔の観念
Coffin of Light
Conceptual Moss
- 10  李禹煥 / 安藤忠雄 財団 継続
Lee Ufan / Tadao Ando
李禹煥美術館
Lee Ufan Museum

豊島 | Teshima

- 11  トビアス・レーベルガー 財団 継続 B
Tobias Rehberger
あなたが愛するものは、あなたを
泣かせもする
(日本フランチャイズバージョン)
Was du liebst, bring dich auch
zum weinen
(japanische franchise version)
- 12  木下晋 財団 継続 A
Susumu Kinoshita
101歳の沈黙 / 100歳の手ほか
101 Year Old's Silence
100 Year Old's Hands, and more

- | | | | | | |
|----|---|--|----|--|--|
| 13 |  | 横尾忠則 財団
Tadanori Yokoo
Aurora / 宇宙的狂気愛
／紫の胎動ほか
Aurora / Universal Frantic Love /
Purple Quickening, and more | 23 |  | 藤浩志 継続 A
Hiroshi Fuji
こんにちは藤島八十郎
Hello Hachijuro |
| 14 |  | 森万里子 財団 継続 A
Mariko Mori
トムナフーリ
Tom Na H-iu | 24 |  | ジャネット・カーディフ &
ジョージ・ビュレス・ミラー BH 継続 A
Janet Cardiff &
George Bures Miller
ストーム・ハウス
Storm House |
| 15 |  | 塩田千春 継続 A
Chiharu Shiota
遠い記憶
Farther Memory | 25 |  | 戸高千世子 継続 B
Chiyoko Todaka
Teshima sense < 豊島の気配 >
Teshima Sense |
| 16 |  | キャメロン・ロビンズ
Cameron Robbins
潜在意識下の海の唄
Sea-Songs of the Subconscious | 26 |  | 内藤礼 / 西沢立衛 財団 継続
Rei Naito / Ryue Nishizawa
豊島美術館
Teshima Art Museum |
| 17 |  | クレア・ヒーリー & ショーン・コーディオロ
Claire Healy & Sean Cordeiro
残り物には福がある。
Luck Exists in the Leftovers | 27 | 将来プロジェクト
Future Project | 藤本壮介
Sosuke Fujimoto
もうひとつの島
Another Island |
| 18 |  | スー・ペドレー
Sue Pedley
ハーモニカ
Harmonica | 28 | 将来プロジェクト
Future Project | 日比野克彦
Katsuhiko Hibino
瀬戸内海底探査船美術館
Museum of Seabed Inquiry
Ship in Setouchi
"Ototoi Maru" |
| 19 |  | 青木野枝 継続
Noe Aoki
空の粒子 / 唐櫃
Particles in the Air / Karato | 29 | 将来プロジェクト
Future Project | Team BankArt Setouchi
Team Bank Art Setouchi
続・朝鮮通信使プロジェクト
Project for a Sequel
Korean Delegation |
| 20 |  | オラファー・エリアソン BH
Olafur Eliasson
ビューティー
Beauty | 30 | 将来プロジェクト
Future Project | 林舜龍
Lin Shuen Long
国境を越えて 海
Over The Border, Sea |
| 21 |  | 安部良 継続 B
Ryo Abe
島キッチン
Shima Kitchen | 31 | 将来プロジェクト
Future Project | 内田晴之
Haruyuki Uchida
豊島彼岸花プロジェクト
Project for a Cluster Amaryllis in Teshima |
| 22 | 将来プロジェクト
Future Project | ピピロッチ・リスト
Pipilotti Rist
(第未定)
(Title Undesigned) | 32 |  | 大阪芸術大学豊島アートラボ
Art Project Laboratory,
Osaka University of Arts
ハリとたゆたう。
Swaying with Laver |

- 33  クリスチャン・ボルタンスキー
財団 継続 B
Christian Boltanski
心臓音のアーカイブ
Les Archives du Coeur

- 42  サンジャ・サソ 継続 B
Sanja Sašo
鬼合戦、あるいは裸の桃の勝利
Momo's Game or Victory of the Naked Peach


女木島 | Megijima

- 34  鈴木康広
Yasuhiro Suzuki
ファスナーの船
Zipper Ship

男木島 | Ogijima

- 43  ジャウメ・プレンサ 継続 B
Jaume Plensa
男木島の魂
Ogijima's Soul

- 35  禿鷹填上 継続 B
Funjo Hagetaka
2世紀的回想
2th Century Recall


- 44  大岩オスカル
Oscar Oiwa
大岩島
Oiwa Island

- 36  愛知県立芸術大学 継続 B
Art Project Team, Aichi Prefectural
University of Fine Arts and Music
愛知芸大・瀬戸内アートプロジェクト
Setouchi Art Project

- 45  井村 隆
Takashi Imura
カラクリン
Karakurin


- 37  福武ハウス 21 財団
Fukutake House 21
世界のギャラリーとスペシャルプロジェクト
Art Galleries Around the World
& Special Project

- 46  川島猛とドリームフレンズ ● 継続 B
Takeshi Kawashima
& Dream Friends
思い出玉が集まる家
A Shelter for Drops of Memory


- 38  レアンドロ・エルリッヒ 財団 継続 B
Leandro Erlich
不在の存在
The Presence of Absence

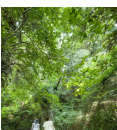
- 47  松本秋則
Akinori Matsumoto
音の風景(瀬戸内編)
Sound Scenes in Ogijima

- 39  行武治美 継続 B
Harumi Yukutake
均衡
Equipoise


- 48  高橋治希 継続 B
Haruki Takahashi
SEA VINE
Sea Vine














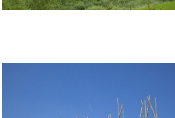




- 40  木村崇人 継続 B
Takahito Kimura
カモメの駐車場
Sea Gull's Parking Lot

- 49  北山善夫
Yoshio Kitayama
誕生—性—生—死—家—男木島伝説
Birth—Sex—Live—Death
—House—Legend in Ogijima

- 41  ロルフ・ユリアス
Rolf Julius
緑の音楽
Green Music

- 50  漆の家プロジェクト ● 継続 B
Maison de Urushi Project
漆の家
Maison de Urushi

- 51  オンバ・ファクトリー ● 継続 B
ONBA FACTORY
オンバ・ファクトリー
ONBA FACTORY

- | | | | | | |
|------------------|---|---|----|--|---|
| 52 |  | 西堀隆史
Takashi Nishibori
うちわの骨の家
Uchia Bone House | 61 |  | 河口龍夫
Tatsuo Kawaguchi
心の巨人
Giant in Our Minds |
| 53 |  | ジェームス・ダーリング &
James Darling & Lesley Forwood
ウォールワーク 5
・カモ島からカモ神社へ
Wall Work 5 from Kamojima
to Kamo Jinja | 62 |  | 栗田宏一
Koichi Kurita
土と生命の図書館
Soil Library Project / Setouchi |
| 54 |  | 谷山恭子
Kyoko Taniyama
雨の路地
Rainy Lane | 63 |  | 安岐理加 ●
Rika Aki
島一人が島を夢想するとき
When You Think of an Island
[Wood] [Path] [Fountain] |
| 55 |  | 中西中井 ●
Nakanishi Nakai
海と空と石垣の街
A Town Between the Sky
and the Sea | 64 |  | 丹治嘉彦
Yoshihiko Tanji
海を繋ぐもの
What Links the Sea |
| 56 |  | 谷口智子 継続 B
Tomoko Tanigichi
オルガン
Organ | 65 |  | 武蔵野美術大学わらアートチーム
Straw Art Team of Musashino
Art University
わらアート
Straw Art |
| 57 |  | 島こころ椅子プロジェクト
グループ5 ● 継続 B
Shima Kokoro Isu Group 5
島こころ椅子
Shima Kokoro Isu | 66 |  | 王文志 継続 B
Wang Wen-Chih
小豆島の家
House of Shodoshima |
| 58 |  | 眞壁陸二 継続 B
Rikuji Makabe
男木島路地壁画プロジェクト wallalley
project for wall paintings
in lane, ogijima: wallalley | 67 |  | ダダン・クリスタント
Dadang Christanto
声なき人々の声
Voices from Disappeared People |
| 小豆島 Shodoshima | | | 68 |  | センス・アート・スタジオ 継続 A
Sense Art Studio
小豆島を輝かせる
Lightening Shodoshima |
| 59 |  | 豊福亮
Ryo Toyofuku
宝船
Treasure Ship | 69 |  | 岸本真之 継続 A
Masayuki Kishimoto
つぎつぎきんつき
Tsugi-Tsugi-Kintsugi |
| 60 |  | スウ・ドーホー
Suh Do-Ho
Net-Work
Net-Work | | | |

大島 | Oshima

70



やさしい美術プロジェクト **継続 B**
Art for the Hospital Project,
Yasashii Bijutsu
つながりの家
Tsunagari no ie

宇野 | Uno

75



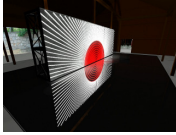
淀川テクニック **継続**
Yodogawa Technique
宇野のチヌ
Black Porgy in Uno

犬島 | Inujima

71

|

74



柳幸典/妹島和世/長谷川祐子
財団 継続
Yukinori Yanagi
/ Kazuyo Sejima
/ Yuko Hasegawa

広域 | Wide area

76



ジョゼ・デ・ギマランイス **継続**
Jose de Guimaraes
フラワー／ハッピーズネーク
Flower / Happy Snake

イベント

- | | | | | | |
|----|---------------------|------------------------------|----|------------------------|--|
| 77 | 直島文楽 ● | オペラ×文楽人形×α
「この海を越えて～蝶々さん」 | 88 | 維新派 | <彼>と旅をする 20 世紀三部作#3
「台湾の、灰色の牛が背のびをしたとき」 |
| 78 | モノクロームサーカス
&服部滋樹 | 直島劇場 | 89 | 藤原和 | 犬島野焼き陶 |
| 79 | 山下洋輔+
西村記人 ●(西村) | アート・スパイダー
～豊島特別編～ | 90 | 大巻伸嗣 | Memorial Rebirth 2010 SETOUCHI |
| 80 | 木村崇人 | 木もれ陽プロジェクト 《星の島》 | 91 | ミュージック&リズムス
●(小松玲子) | 海の道
＝列島をつなぐ島の歌垣＝ |
| 82 | 林隆三 | 林隆三ひとり語り | 92 | 沢入国際
サーカス学校 | 新編「勝ってたまるか剣振丸」 |
| 83 | 酔楽団 | 忠楽中樂 | 93 | 瀬戸内国際
シンポジウム | 21 世紀を再定義するために |
| 84 | 肥土山農村歌舞伎 | 特別公演 ● | 94 | アートをめぐる・
島の連続シンポジウム | 1 美術とキュレーション、その仕事
2 未来の美術館のかたち
3 拡大する美術、その周縁
4 美術と世界のマーケット
5 観客=見る人たちと美術 |
| 85 | 中山農村歌舞伎 | 特別公演 ● | 95 | | |
| 86 | 鳥の劇場 | 老貴婦人の訪問 | 96 | | |
| 87 | 田島征三・小室等
ほか | 音が絵になり 絵が音になり | 97 | | |
| | | | 98 | | |

その他

ロゴ、ポスター等 原研哉／上田義彦

建築 VAKA ●

瀬戸内の名産品
リデザインプロジェクト 審査員:
佐藤卓、ひびのこずえ、林千晶

4. 概況

瀬戸内国際芸術祭 2010 は、「海の復権」をテーマに、平成 22 年 7 月 19 日から 10 月 31 日までの 105 日間、直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島および高松港周辺を会場に開催された。

来場者数については、当初 30 万人の来場者見込みでスタートしたところ、8 月以降順調な人出を維持し、会期半ばをまたずして見込数に到達し（9/5、49 日目）、最終的には、見込みの 3 倍以上となる約 93 万 8 千人に達した。また、会期中の主催イベントでは、約 5 万 3 千人の入場があった。

来場者の傾向としては、30 歳代までの女性の割合が顕著であり、特に東京や大阪など都会からの来場が目立った。全都道府県からの来場があり、関東・関西が 4 割、香川・岡山が 4 割となっている。

作品鑑賞パスポートは、前売りで当初予想 2 万枚を大きく上回る 41,537 枚を売上げ、当日券も順調に推移し、最終的に、当初目標を上回る 88,437 枚を販売した。これに、香川県・岡山県の高校生全員を対象に配布した無料引換券を利用したパスポート等を含め、トータルで 92,002 枚が利用された。

実行委員会の総予算額は第 5 回総会（H22.3.30）の時点では、20 年度～22 年度の 3 年間で、652 百万円だったが、会期終了時点の収支見込みでは、収入 793 百万円、支出 689 百万円となっており、104 百万円の剰余金が見込まれる。

収入増の主な要因としては、協賛金収入の増、チケット販売収入の増などがある。

支出増の主な要因としては、作品制作関連費の増、広報活動費の増、インフォメーション等運営費の増などがある。

好調な人出を背景に、地元メディアはもとより全国でも新聞、雑誌、テレビなど様々な媒体で芸術祭について大きく取り上げられ、海外でも多くのメディア露出があった。各メディアの評価は概ね好評で、また、来場者を対象にしたアンケートでも、全体の 9 割以上が好意的評価をしている。

好評の要因としては、各作品の質の高さ、海と島を会場に行われる世界で初めての国際芸術祭であること、さらには各島々の住民やこえび隊との心温かな交流などが、都会の若い世代をはじめとする幅広い層に受け入れられたものと考えられる。

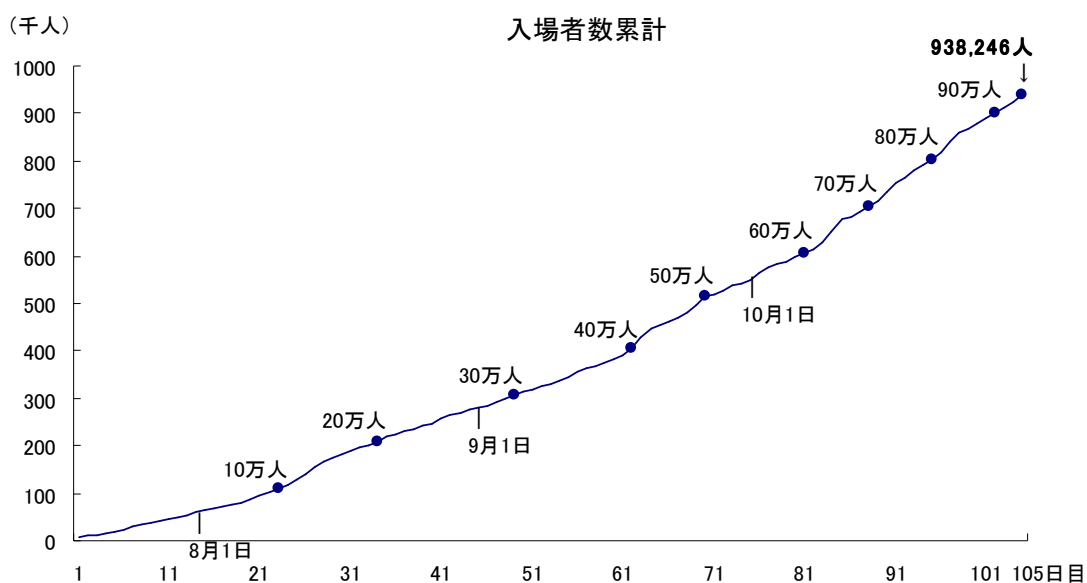
5. 来場者の状況

(1) 来場者数

- 来場者については、9月5日(49日目)に当初見込みの30万人に達し、総来場者数は、当初見込み30万人の3倍以上となる938,246人となった。
- 9月、10月の土日祝日には1日で2万人を超える来場があり、連休中日となる10月10日(日)には25,699人の来場があった。
- 会場別では、既存施設も多く知名度も高い直島が全体の約3割を占め、次いで豊島が19%、小豆島、女木島、男木島、犬島が10%前後となっている。

会場別来場者数

	合計	割合	1日平均	最多来場日/人数
直島	291,728人	31.1%	2,778人	9月19日(日) 6,404人
豊島	175,393	18.7	1,670	10月24日(日) 4,555
女木島	99,759	10.6	950	10月10日(日) 3,112
男木島	96,503	10.3	919	9月19日(日) 2,967
小豆島	113,274	12.1	1,079	10月11日(月・祝) 5,059
大島	4,812	0.5	46	9月19日(日) 147
犬島	84,458	9.0	804	10月10日(日) 2,222
高松	72,319	7.7	689	10月10日(日) 2,187
全体	938,246	100.0	8,936	10月10日(日) 25,699



来場者カウントについて

来場者見込み

来場者見込みの 30 万人は、実施計画時点（H21.3）の数値であり、他県で行われた同様な芸術祭(横浜トリエンナーレ、新潟越後妻有大地の芸術祭等)の来場者数を参考に算定した。

会期中のカウント方法

会期中、実際何人の人が芸術祭のために島などの会場に入ったかを直接的に計測することは困難なことから、できるだけ実数と近いものとなるように、各島において、集落のバランスなどに配慮して全部で 24 ヶ所（当初 22 ヶ所）の基準施設を設け、その合計数を、その島の来場者数として集計した。

なお、来場者数は、見込み数、実績値ともに、来場者の客数(あたま数)としてではなく、島ごとの実来場者数の合計値となっている。*

(* 例えば 1 人が 2 泊 3 日で 3 島を訪れた場合（客数は 1）は、3 として計上)

基準施設一覧

会場	基準施設
直島 4ヶ所	6 家プロジェクト(基会所)
	10 李禹煥美術館
	F ベネッセハウス
	G 地中美術館
豊島 7ヶ所	11 トビアス・レーベルガー
	13 横尾忠則
	15 塩田千春
	21 安部良「島キッチン」
	24 ジャネット・カーディフ&ジョージ・ビュレス・ミラー
	26 豊島美術館(10/17から)
33 クリスチャン・ポルトンスキー	
女木島 2ヶ所	37 福武ハウス
	38 レアンドロ・エルリッヒ
男木島 2ヶ所	44 大岩オスカー(9/26まで)
	46 川島猛とドリームフレンズ
	52 西堀隆史(9/28から)
小豆島 4ヶ所	59 豊福亮
	62 栗田宏一
	65 わらアート(9/26から)
	66 王文志
大島 1ヶ所	70 官用船乗船者数
犬島 2ヶ所	73 犬島家プロジェクト・I邸
	H 犬島アートプロジェクト「精錬所」
高松 2ヶ所	1 椿昇(P.R.O.M.)
	— 海の市場

(2) 来場者の傾向

来場者を対象に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は次のとおり。

<来場者アンケート実施概要>

- 芸術祭会場の主要な港から高松または宇野へ向けて出発する旅客船（フェリーを含む）の乗客を対象にアンケート用紙を配布し、高松港および宇野港において回収（一部船便については船内でも回収）した。
- 木曜から日曜の4日間を1セットとし、9月、10月にそれぞれ2回ずつ、のべ16日間実施した。
- 全部で11,476枚の回答を回収した。

	1	2	3	4	5	6	7	8
調査日	9/9 木	9/10 金	9/11 土	9/12 日	9/23 木	9/24 金	9/25 土	9/26 日
来場者数	5,833	5,974	10,403	10,567	9,190	11,511	15,566	17,351
回収枚数	881	287	636	595	614	649	743	773
	9	10	11	12	13	14	15	16
調査日	10/7 木	10/8 金	10/9 土	10/10 日	10/21 木	10/22 金	10/23 土	10/24 日
来場者数	8,374	7,247	13,808	25,699	11,799	13,199	21,855	20,519
回収枚数	500	464	683	1,122	672	757	1,075	1,025
								合計
								208,895
								11,476

来場者の属性

- 男女別では、女性が7割、男性が3割となっている。
- 年齢別では、10代～30代の若年層が7割を占める。
- 県内からの来場者が3割、県外が7割となっている。
- 全ての都道府県からの来場があった。
- 地域別では、関東・関西が4割、香川・岡山が4割となっている。
- 外国からは、台湾、アメリカ、オーストラリア、フランスなどが多い。

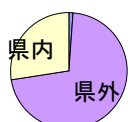
性別	比率
男性	31.4%
女性	68.6%
回答数	11,407



年齢層	比率
10-19	2.8%
20-29	40.8%
30-39	27.0%
40-49	12.1%
50-59	9.8%
60-69	5.8%
70才以上	1.6%



住まい	比率
外国から	1.1%
香川県外	71.3%
香川県内	27.6%
回答数	11,417



地域	比率
関東	20.1%
関西	20.0%
香川岡山	39.2%
その他	18.3%
回答数	11,417



都道府県別

都道府県名	回答数	比率
01 北海道	43	0.4%
02 青森	8	0.1%
03 岩手	3	0.0%
04 宮城	25	0.2%
05 秋田	4	0.0%
06 山形	8	0.1%
07 福島	16	0.1%
08 茨城*	42	0.4%
09 栃木*	17	0.1%
10 群馬*	31	0.3%
11 埼玉*	217	1.9%
12 千葉*	213	1.9%
13 東京*	1,310	11.5%
14 神奈川*	465	4.1%
15 新潟	21	0.2%
16 富山	14	0.1%

都道府県名	回答数	比率
17 石川	31	0.3%
18 福井	20	0.2%
19 山梨	12	0.1%
20 長野	28	0.2%
21 岐阜	57	0.5%
22 静岡	73	0.6%
23 愛知	301	2.6%
24 三重	53	0.5%
25 滋賀**	105	0.9%
26 京都**	355	3.1%
27 大阪**	971	8.5%
28 兵庫**	694	6.1%
29 奈良**	129	1.1%
30 和歌山**	24	0.2%
31 鳥取	36	0.3%
32 島根	25	0.2%

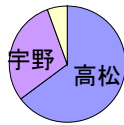
府県名	回答数	比率
33 岡山	1,324	11.6%
34 広島	402	3.5%
35 山口	52	0.5%
36 徳島	188	1.6%
37 香川	3,148	27.6%
38 愛媛	283	2.5%
39 高知	94	0.8%
40 福岡	148	1.3%
41 佐賀	18	0.2%
42 長崎	10	0.1%
43 熊本	24	0.2%
44 大分	18	0.2%
45 宮崎	3	0.0%
46 鹿児島	4	0.0%
47 沖縄	9	0.1%
(不明)	341	3.0%

*は関東 **は関西 (不明)は全て香川県外

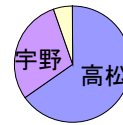
会場となる島へ（島から）の經由港

- 島へ渡る際の經由港、島から帰る際の經由港のいずれも、高松港が約 65%、宇野港が約 30%となっている。

来場ルート	比率
高松港	64.8%
宇野港	29.6%
その他	5.6%
回答数	6,786



帰省ルート	比率
高松港	65.2%
宇野港	29.7%
その他	5.2%
回答数	6,689



会場への交通手段

- 会場への交通手段については、地元（香川・岡山）以外では、鉄道、自家用車、バス、飛行機の順で利用が多い。
- 地元では、半数が自家用車利用となっている。

地元（香川・岡山）以外

交通手段	比率
飛行機	17.5%
鉄道	30.7%
バス	22.0%
自家用車	24.5%
その他	5.4%
回答数	6,704



地元（香川・岡山）

交通手段	比率
飛行機	0.3%
鉄道	15.1%
バス	18.5%
自家用車	50.9%
その他	15.1%
合計	4,273



6. 作品鑑賞パスポートの販売状況等

- 前売券の販売実績は、最低目標としていた2万枚を上回る41,537枚となった。
- このうち、29,463枚は、7月1日から7月19日までの間に販売された。
- 当日券の販売実績は、44,117枚であり、前売・当日の合計は、85,654枚となった。
- また、島民用パスポート（芸術祭会場の島民を対象に前売券を半額で販売）の販売枚数は2,783枚であった。
- 作品鑑賞パスポートの総販売枚数は、当初目標の6万枚を上回る88,437枚となった。
- このほか、香川県・岡山県の高校生全員を対象に配布した無料引換券を利用したパスポートが1,835枚、開会式出席者等への招待券が1,730枚であった。
- よって、作品鑑賞パスポートは、合計で92,002枚が利用された。

前売券	41,537	A
当日券	44,117	B
小計	85,654	C=A+B
島民パスポート	2,783	D
総販売枚数	88,437	E=C+D
招待券	1,730	F
高校生無料引換券(香川・岡山)	1,835	G
合計	92,002 枚	E+F+G

[前売券+当日券]

販売枚数(含・高校生)

	実行委員会事務局*1	実行委員会構成団体*2	実行委員会関連団体*3	コンビニ・プレイガイド	旅行代理店	その他	合計
1月	6	314	0	58	16	0	394
2月	219	293	0	61	6	45	624
3月	3,300	319	0	50	9	79	3,757
4月	249	186	0	55	12	9	511
5月	1,370	317	0	100	10	14	1,811
6月	1,063	1,452	5	623	1,535	299	4,977
7月前	4,107	8,826	619	10,335	3,701	1,875	29,463
前売	10,314	11,707	624	11,282	5,289	2,321	41,537
7月当	318	1,254	2	352	92	81	2,099
8月	2,332	6,207	13	1,585	820	336	11,293
9月	2,413	8,309	48	2,555	1,480	495	15,300
10月	2,621	8,103	15	1,988	2,103	595	15,425
当日	7,684	23,873	78	6,480	4,495	1,507	44,117
計	17,998	35,580	702	17,762	9,784	3,828	85,654

*1 実行委員会事務局(県芸術祭推進室)で直接販売したもの

*2 その他県や高松市,土庄町,小豆島町,直島町,福武関係団体など実行委員会の資金負担団体で販売したもの

*3 その他の実行委員会構成団体や、自治体で販売したもの

7. イベントの状況

(1) 主催イベント等

- 芸術祭主催・共催イベントは、全部で 84 イベント（延べ 208 回）開催し、入場者数は、合計で 53,193 人となった。
- いずれのイベントも、ほぼ定員を満了入場者となった。
- 前夜祭では 5,000 人、開会式では 2,000 人、閉会式では 2,000 人が来場した。
- 犬島の維新派公演では、12 回で 4,900 人が入場した。

No	エリア	公演日	イベントタイトル	参加人数
1	岡山	7月4日(日)	アートをめぐる・島の連続シンポジウム1 美術とキュレーション、その仕事	200
2	高松	7月18日(日)	前夜祭	5,000
3	高松	7月19日(月祝)	開会式	2,000
4	豊島	7月19日(月祝)	OPENING PARTY!	80
5	高松	7月19日(月祝)	MUSIC BLUE	100
6	女木	7月20日(火)	アートをめぐる・島の連続シンポジウム2 美術と世界のマーケット	83
7	犬島	7月20日(水)-8月1日(日) (全12回)	<彼>と旅をする20世紀三部作#3 「台湾の、灰色の牛が背のびをしたとき」	4,900
8	豊島	7月21日(水)	アートをめぐる・島の連続シンポジウム3 拡大する美術、その周縁	150
9	女木	7月23日(金)-8/15(日) ※月曜休み(全21回)	木もれ陽プロジェクト《星の島》	1,500
10	高松	7月24日(土)-25日(日) 31日(土)-8月1日(日)	MUSIC BLUE 高松ボサノバフェスティバル	620
11	小豆島	7月24日(土)、31日(土)	忠樂中樂	230
12	直島	7月31日(土)	直島女文楽	140
13	女木	8月1日(日)	喜びの島〜女木島I 掛谷勇三ピアノコンサート	37
14	男木	8月1日(日)	漆の家 茶話会	24
15	直島	8月6日(金)	瀬戸内国際シンポジウム2010 基調講演/基調シンポジウム	160
16	豊島	8月7、8日	大きなものを入れよう	90
17	直島	8月7日(土)	瀬戸内国際シンポジウム2010分科会 地域の未来をアートがひらく	50
18	豊島	8月7日(土)	瀬戸内国際シンポジウム2010分科会 “食と農”―地域の新しい豊かな生き方	120

No	エリア	公演日	イベントタイトル	参加人数
19	女木	8月7日(土)	喜びの島～女木島Ⅱ 鈴木謙一郎ピアノコンサート	50
20	小豆島	8月7日(土)	瀬戸内国際シンポジウム 2010 分科会 ツーリズムの可能性	120
21	犬島	8月7日(土)	瀬戸内国際シンポジウム 2010 分科会 里海から多島海へ	75
22	高松	8月7日(土)～8日(日)	MUSIC BLUE 高松ジャズ2デイズ	650
23	高松	8月8日(日)	瀬戸内国際シンポジウム 2010 分科会報告会／総括シンポジウム	300
24	豊島	8月14日(土)	豊島音楽祭 プレイベント	13
25	大島	8月14日(土)	大島土でつろう	17
26	豊島	8月18日(水)、19日(木)	三田村管打団?	115
27	豊島	8月21日(土)	大阪芸術大学豊島アートラボ floating point ～感覚的映像の体験～	172
28	小豆島	8月21日(土)	アートをめぐる・島の連続シンポジウム4 観客=見る人たちと美術	120
29	高松	8月21日(土)～22日(日)	MUSIC BLUE	320
30	高松	8月22日(日)	ART SETOUCHI 街クラシック in 高松 瀬戸フィルハーモニー交響楽団	100
31	直島	8月28日(土)	直島女文楽・オペラ×文楽人形×α 「この海を越えて～蝶々さん」	450
32	女木	8月28日(土)	喜びの島～女木島Ⅲ 北住淳ピアノコンサート	70
33	高松	8月28日(土)	新編「勝ってたまるか剣振丸」	259
34	高松	8月28日(土)～29日(日)	MUSIC BLUE	300
35	豊島	8月28日(土)～29日(日)	堀田裕介	95
36	高松	8月29日(日)	ART SETOUCHI 街クラシック in 高松 瀬戸フィルハーモニー交響楽団	100
37	大島	9月4日(土)	音が絵になり 絵が音になり	440
38	高松	9月4日(土)	まちうたコンサート	100
39	高松	9月4日(土)～5日(日)	MUSIC BLUE	380
40	直島	9月5日(日)	アートをめぐる・島の連続シンポジウム5 未来の美術館のかたち	58
41	大島	9月5日(日)	大島の松を撮ろう	9
42	男木	9月5日(日)	漆の家 茶話会	40
43	直島	9月11日(土)	直島女文楽	95
44	豊島	9月11日(土)～12日(日)	豊島音楽祭 プレイベント	200
45	高松	9月11日(土)～12日(日)	MUSIC BLUE	380

No	エリア	公演日	イベントタイトル	参加人数
46	高松	9月12日(日)	モノクロームサーカス 直島劇場	100
47	豊島	9月18日(土)	BAQUEBA ライブ	60
48	高松	9月12日(日)	ART SETOUCHI 街クラシック in 高松 瀬戸フィルハーモニー交響楽団	100
49	男木	9月18日(土)	林隆三ひとり語り	237
50	高松	9月18日(土)-19日(日)	MUSIC BLUE	360
51	豊島	9月19日(日)、20日(月祝)	三田村管打団?	70
52	直島	9月23日(木)-26日(日)	モノクロームサーカス 直島劇場	555
53	女木	9月23日(木祝)	Percussive Earth	中止
54	高松	9月23日(木祝)	MUSIC BLUE	100
55	直島	9月25日(土)	直島女文楽	100
56	豊島	9月25日(土)	ノリがたゆたう音楽会	57
57	犬島	9月25日(土)	犬島野焼き陶	120
58	高松	9月25日(土)	まちうたコンサート	100
59	豊島	9月25日(土)	小屋丸冬と春	19
60	高松	9月25日(土)-26日(日)	MUSIC BLUE	350
61	豊島	9月26日(日)	日比野克彦	30
62	豊島	9月27日(月)	いしいしんじ	30
63	高松	10月2日(土)	伊藤大輔+神田サオリ	100
64	豊島	10月3日(日)	音の絵本	40
65	男木	10月3日(日)	漆の家 茶話会	35
66	豊島	10月9日(土)	アート・スパイダー ~豊島特別編~	280
67	豊島	10月9日(土)、10日(日)	linalina	200
68	高松	10月9日(土)、10日(日)	ミュージック BLUE コンサート In マザーポート高松	1,600
69	女木	10月10日(日)	<MEGI> (Music and Electrically Generated Information)	114
70	高松	10月16日(土)	ミュージック&リズムス「海の道= 列島をつなぐ島の歌垣=」	400
71	高松	10月16日(土)	まちうたコンサート	100

(2) 「市町の日」イベント

- 芸術祭の効果を全県に波及させるための取り組みの一環として、芸術祭会期中に「市町の日」として、サンポート高松のデックスガレリアにおいて、県内の各市町がそれぞれの観光PRや物産の紹介、郷土芸能の披露等を行った。
- 会期中32日間実施し、計26,460人の来場があった。

実施年月日	参加団体	来場者(人)
7月24日(土)、25日(日)	さぬき瀬戸大橋広域観光協議会の日 (普通寺市・丸亀市・琴平町・坂出市・多度津町・綾川町・宇多津町・まんのう町)	1,535
7月31日(土)、8月1日(日)	さぬき瀬戸大橋広域観光協議会の日 (普通寺市・丸亀市・琴平町・坂出市・多度津町・綾川町・宇多津町・まんのう町)	870
8月7日(土)、8日(日)	瀬戸内海の日 社団法人瀬戸内海環境保全協会(香川県環境管理課)、 醤油豆の日(香川県醤油豆協議会) 徳島県上勝町の日(徳島県勝浦郡上勝町)	2,541
8月21日(土)、22日(日)	土庄町の日 愛媛県西予市の日(愛媛県西予市観光協会)	2,206
8月28日(土)、29日(日)	高松市・三木町の日 岡山県・備前焼陶友会の日(岡山県、備前焼陶友会)	712
9月4日(土)、5日(日)	観音寺市・直島町の日 愛媛県今治市の日(愛媛県今治市)	1,587
9月11日(土)、12日(日)	三豊市の日 愛媛県の日(社団法人愛媛県観光協会・社団法人愛媛県物産協会)	935
9月18日(土)	海の大茶会の日(公益財団法人中條文化振興財団) 徳島県の日(徳島県)	560
9月19日(土)、20日(日)	さぬき市の日 徳島県の日(徳島県)	1,667
9月23日(土)	高松市の日 高松工芸高校の日(高松工芸高等学校)	735
9月25日(土)、26日(日)	高松市の日 高松工芸高校の日(高松工芸高等学校) 四国スイーツの日	1,650
10月2日(土)、3日(日)	高松市の日 高松工芸高校の日(高松工芸高等学校) 国民文化祭・おかやま2010の日(第25回国民文化祭岡山県実行委員会)	1,915
10月9日(土)、10日(日)、11日(月)	MUSIC BLUEの日 真庭市・鏡野町の日(岡山県真庭市・鏡野町)	3,252
10月16日(土)、17日(日)	高松市の日 東かがわ市の日(東かがわ市ニューリズム協会) 宇和島圏域の日(「宇和島圏域交流促進連絡協議会」宇和島市・愛南町・鬼北町・松野町)	1,305
10月22日(金)	高松市の日	385
10月23日(土)、24日(日)	高松市の日 大塚国際美術館の日(大塚国際美術館)	1,170
10月30日(土)、31日(日)	高松市・小豆島町の日 矢掛町の日(岡山県矢掛町)	3,435
合計	32日間開催	26,460

8. 広報の状況

(1) パブリシティの実績

- 22年4月以降、新聞・テレビ・雑誌等の各種メディアで、645件の掲載・放送があった。
- このうち地元ローカル（香川・岡山）以外は279件（43.3%）であった。

掲載・放送件数（2010年4月～10月）

種別	海外	全国	地方	香川・岡山	計
新聞	3	11	9	307	330
テレビ	1	7		3	11
ラジオ	1	2	5	12	20
雑誌等	30	105	72	44	251
ウェブ	5	28	-	-	33
計	40	153	86	366	645

※ 記事／放送の主眼が芸術祭に置かれているもののみ抽出（テレビ・ラジオのニュースなどを除く）

※ 国内については掲載・放送の実績が確認できているものを集計

※ 海外については一部実績確認困難なため申し込みベースの数字

※ 実績は現在確認中のため、さらに数字は増加する見込み

掲載雑誌（収集途中）



(2) 地元メディアでの長期特集

- 四国新聞
- ・「今日の瀬戸芸」
7月18日～10月31日（全101回）
 - ・「フラムの瀬戸芸鑑賞ガイド」
7月1日～10月31日（全120回）
 - ・ウェブサイトで芸術祭コーナーを設置
- NHK高松（TV）
- ・「ひるまえかがわ」の中で芸術祭情報コーナー
4月7日～10月27日
 - ・「ゆう6かがわ」の中で芸術祭情報コーナー（随時）
 - ・ウェブサイトで芸術祭コーナー「せとうち再発見」を設置
- 西日本放送・山陽放送共同ラジオ番組
- ・「島島ラジオ」
7月3日～10月30日：毎土曜11時～正午（全18回）
- ビジネス香川
- ・「おしえて！早わかり芸術祭」
4月1日～10月21日（全14回）

(3) 国内主要メディアでの掲載・放映実績

【新聞（全国・主要地方紙）】

- 朝日新聞 7/26 全国版文化面
読売新聞 7/29 全国版文化面
京都新聞 7/31 美術面
神戸新聞 9/10
毎日新聞 8/6 全国版文化面
日本経済新聞 8/14 全国版文化面
朝日新聞 8/21 全国版アスパラ倶楽部 など

【雑誌】

- 「Discover Japan」7/6 発売
「OZ magazine」7/12 発売
「Casa BRUTUS」8/10 発売
「Pen」8/1 発売
「和楽」8/12 発売
「芸術新潮」8/25 発売 など

【テレビ】

- RSK「VOICE 21」（8/11,18 放映）
RNC 特番（8/14 放映）
NHK国際放送 特番（9/3,10,17、9/12にNHK教育でも放映）
TBS「王様のブランチ」（9/4 放映）
NHK「日曜美術館」（9/5 放映）、
日本テレビ「ズームインサタデー」（9/25 放映） など

(4) 海外メディアでの掲載・放映実績

No.	カテゴリ	媒体名	発行／放送	対象エリア
1	1新聞	Weekendavisen, Denmark	2010/9/1	デンマーク
2		Joongang news paper and Culture ocean	2010/11	韓国
3		Agencia EFE	未定	スペイン
4	2テレビ	日本国際放送／本当の豊かさとは	2010/9/3	世界120カ国
5	3ラジオ	BBC WORLD SERVICE	2010/8/27	世界各国
6	4雑誌	U magazine	2010/1/1	台湾
7		JAPAN up !	2010/2/1	アメリカ
8		CHOPSTICKS NY	2010/2/1	アメリカ
9		A [ei]	2010/3/20	中国
10		RA	2010/5/1	イギリス
11		ASIANA	2010/6/1	韓国
12		YOKOSO! JAPAN Magazine	2010/7/1	中国
13		香港ウォーカー	2010/7/1	中国
14		ASIANA	2010/7/1	韓国
15		VERVE	2010/7/1	中国
16		JNTO発行『もっということ。』	2010/7/1	韓国
17		台湾旅行雑誌「行遍天下」	2010/7/1	台湾
18		地球村	2010/7/1	台湾
19		香港ウォーカー	2010/8/1	中国
20		art IN CULTURE	2010/8/1	韓国
21		Monthly Art Magazine	2010/8/1	韓国
22		az	2010/8/1	中国
23		Weekend Weekly	2010/8/2	中国
24		Design Magazine	2010/8/3	台湾
25		ASIAN ART NEWS	2010/9/1	アメリカ、アジア
26	ART INVESTMENT	2010/9/1	台湾	
27	Art Press	2010/9/1	フランス	
28	芸術興投資	2010/10/1	中国	
29	beyond	2010/10/1	韓国	
30	Baumeister Magazin Germany www.baumeister.de	2010/11/30	ドイツ	
31	COOL Magazine	2010/12	アメリカ	
32	Art4D	2010/12	タイ	
33	Private Clubs	2011/1	アメリカ	
34	Revista Mon	2011/4	スペイン	
35	La Poste	未定	フランス	
36	5ウェブ	Diaaalogue, Asia Art Archive	2010/8/1	世界各国
37		SPANNA magazine	2010/9/6	スウェーデン
38		Stylus	2010/10	イギリス
39		RUE89, french Internet leading news program and monthly magazin	2010/10/7	フランス
40		www.gdayjapan.com.au	2010/10/7	オーストラリア

(5) 広告の状況

新聞	掲載日	大きさ	内容
四国新聞	6月19日(土)	5段カラー	パスポート前売発売をPR
	7月9日(金) ～7月18日(日)	記事中広告カラー	カウントダウン広告
	7月18日(日)	ラッピング60段カラー	開催前日に掲載
	8月6日(金)	オアシス巻頭3段カラー	イベントの宣伝。
	9月15日(水)	30段カラー(両面)	イベントと回遊美術館の紹介
	10月31日(日)	30段カラー(センター見開き)	会期最終日に掲載
山陽新聞	5月30日(日)	5段カラー	パスポート前売発売をPR
	7月18日(日)	30段カラー	開催前日に掲載
	8月22日(日)	5段カラー	イベントの宣伝
毎日新聞(名古屋版)	8月7日(土)	2段2分の1モノクロ	イメージ広告

タウン誌	掲載号	ページ数	内容	
TJかがわ	7月号	26ページ	会場、作品、イベント等の紹介	
ナスタウン	7月号	6ページ		
	8月号	2ページ		
	9月号	3ページ		
	10月号	6ページ		
香川こまち	7月号	8ページ		
	8月号	6ページ		
	9月号	5ページ		
	10月号	5ページ		
愛媛こまち	7月号	8ページ		
	9月号	9ページ		
	10月号	5ページ		
TJおかやま	7月号	8ページ	会場、作品、イベント等の紹介	
	8月号	1ページ		
	9月号	1ページ		
LLIO	9月10日号	4ページ		
Osera	6月25日号	6ページ		
	8月25日号	1コーナー		
TJかがわ あわわ TJまつやま ほっとこうち TJ Hiroshima Lazuda TJおかやま	8月号 9月号 10月号	1コーナー		中四国のタウン誌7社が 共通の記事を掲載

テレビCM	放送期間	規格	内容
民放5局 RNC、KSB RSK、OHK、TSC	7月14日(水) ～7月18日(日)	15秒の動画	開催予告CM
	8月9日(月) ～8月13日(金)		開催中CM

ケーブルテレビ	放送期間	放送時間	内容
高松ケーブルテレビ 中讃ケーブルビジョン(株) 香川テレビ放送網(株) 三豊ケーブルテレビ放送(株) さぬき市ケーブルネットワーク 岡山ネットワーク(株) (株)倉敷ケーブルテレビ	7月～10月	29分	香川・岡山のケーブルテレビ7社共同 島とアーティストの紹介

JR列車	掲出期間	掲出数	内容
JR西日本 京阪神地区 岡山地区 広島地区(山口エリアを含む)	8月20日～10月12日	3,250枚×3回	B3ポスター列車中吊り 安藤忠雄氏起用
	8月19日～10月下旬	348枚×2回	
	8月25日～10月下旬	546枚	
	8月20日～10月下旬	229枚	
JR四国	5月1日～10月31日	70本/日	芸術祭ヘッドマークを装着したマリライナーを運行

(6) パブリシティの広告費換算

- 新聞、テレビ、雑誌等に掲載された芸術祭関連記事を広告費換算すると、8億円以上*の効果があつた。

* 博報堂による推計。ただし、(5)に記載のもの他、次のものは含まない。
 会員誌等、新聞（地方紙、地方版）、ニュース（テレビ、ラジオ、新聞等）、
 ウェブ関係、海外メディア

(7) ウェブサイト等

<芸術祭公式ウェブサイト>

- 芸術祭全般を紹介する公式ウェブサイト(setouchi-artfest.jp)には、7月～10月で、135の国と地域から、約98万件のアクセス*があつた。(*Google Analyticsによるセッション数。1度のアクセスで複数ページを閲覧しても1件と数えられる。以下同)
- このうち、97%は国内からで、海外からのアクセスは3%（約3万件）であつた。
- 1日で最もアクセス数が多かつたのは9月27日(月)の21,079件で、これは前日の男木島火災事故の影響と思われる。
- この他、開幕前後でアクセス数が多かつたほかは、期間中ほぼ毎日8千件前後のアクセスがあつた。

芸術祭公式ウェブサイトのアクセス状況

2010/07/01 - 2010/10/31



977,665 セッション | 7,948.50 セッション/日

135 国/地域から

国/地域	セッション	比率
日本	947,907	97.0%
米国	5,781	0.6%
台湾	5,148	0.5%
香港	3,129	0.3%
韓国	2,761	0.3%
フランス	1,927	0.2%
イギリス	1,335	0.1%
オーストラリア	1,317	0.1%
中国	1,257	0.1%
ドイツ	1,005	0.1%
その他	6,098	0.6%
合計	977,665	100.0%

都市	セッション	比率
高松	119,077	12.2%
大阪	93,333	9.5%
東京	88,691	9.1%
渋谷区	77,772	8.0%
新宿	71,537	7.3%
岡山	60,464	6.2%
京都	26,653	2.7%
名古屋	25,868	2.6%
広島	25,530	2.6%
神戸	21,781	2.2%
その他	366,959	37.5%
合計	977,665	100.0%

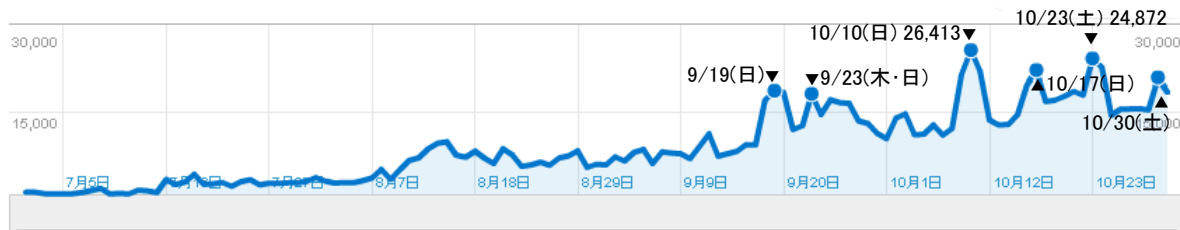
OS	セッション	比率
Windows	714,489	73.1%
Macintosh	191,394	19.6%
iPhone	51,189	5.2%
iPad	8,788	0.9%
Android	4,060	0.4%
iPod	2,948	0.3%
(不明)	2,067	0.2%
Linux	1,403	0.1%
NTT DoCoMo	501	0.1%
SoftBank	448	0.0%
その他	378	0.0%
合計	977,665	100.0%
うちモバイル	67,934	6.9%

<瀬戸内アートナビ>

- 来場者向けに、交通情報、混雑情報などを提供する「瀬戸内アートナビ」(www.setouchi-navi.jp)には、7月～10月で、約106万件のアクセスがあつた。

- このうち、携帯電話などモバイル環境からのアクセスが8割近くを占めている。
- 会期が進むにつれアクセスも多くなっており、月毎のアクセス数で見ると、10月のアクセス数は7月の約13倍となっている。

瀬戸内アートナビのアクセス状況



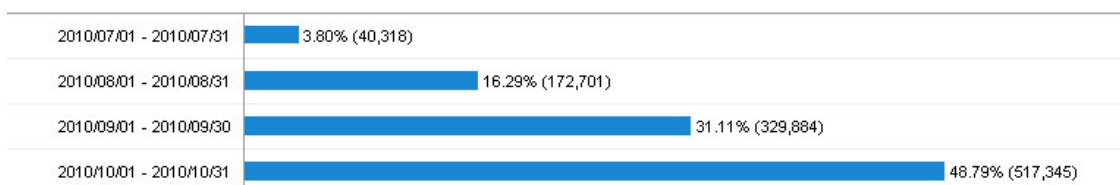
1,060,248 セッション | 8,619.90 セッション/日

33 国/地域から

国/地域	セッション	比率
日本	1,058,867	99.9%
米国	426	0.0%
台湾	286	0.0%
韓国	125	0.0%
香港	82	0.0%
インド	79	0.0%
(不明)	77	0.0%
カナダ	75	0.0%
中国	49	0.0%
シンガポール	35	0.0%
その他	147	0.0%
合計	1,060,248	100.0%

都市	セッション	比率
文京区	326,217	30.8%
新宿区	223,631	21.1%
東京	170,729	16.1%
大宮	150,508	14.2%
高松	43,746	4.1%
渋谷区	19,260	1.8%
大阪	18,386	1.7%
岡山	17,657	1.7%
松山	5,478	0.5%
広島	5,405	0.5%
その他	79,231	7.5%
合計	1,060,248	100.0%

OS	セッション	比率
NTT DoCoMo	502,236	47.4%
EZweb Device	224,860	21.2%
Windows	209,351	19.7%
SoftBank	80,691	7.6%
Macintosh	24,444	2.3%
iPhone	12,053	1.1%
iPad	2,249	0.2%
Android	1,991	0.2%
Vodafone	909	0.1%
iPod	556	0.1%
その他	908	0.1%
合計	1,060,248	100.0%
うちモバイル	825,545	77.9%



<ツイッター>

- ウェブ上での新しいコミュニケーションツールとして注目度を集めていた「ツイッター Twitter」を活用したプロモーションを行うため、2009年4月にアカウント (@setouchi_art_jp(日本語)、@setouchi_art(英語)) を開設した。
- 開幕前は、会場となる島の情報や作品の制作状況などを、積極的に配信し、会期中は、アートナビなども連動し、混雑などの提供も行った。
- 人気度を示すフォロワー数を見ると、開設以降順調に登録数が伸び、日本語アカウントは10月22日に10,759に達し、英語アカウントは12月9日時点で1,341で、なお増加傾向にある。

ツイッターアカウントのフォロワー数

@setouchi_art_jp(日本語アカウント) のフォロワー数

7月1日 6,127

8月1日 8,159

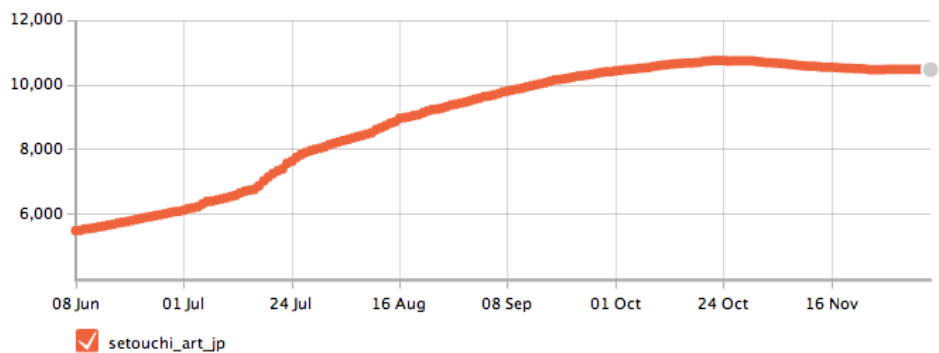
9月1日 9,558

10月1日 10,447

11月1日 10,719

12月1日 10,485

最高値は 10/22 の 10,759



setouchi_art_jp

TWITTERCOUNTER POWERED BY twitter

<http://twittercounter.com>

@setouchi_art (英語アカウント) のフォロワー数

7月1日 510

8月1日 1,076

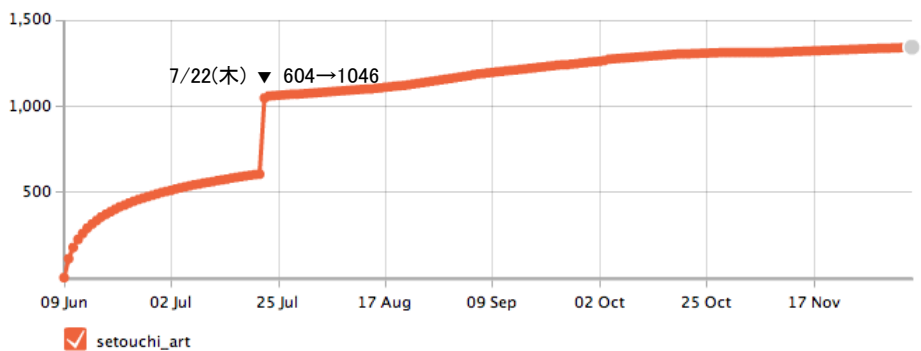
9月1日 1,165

10月1日 1,259

11月1日 1,313

12月1日 1,336

12月9日 1,341



setouchi_art

TWITTERCOUNTER POWERED BY twitter

<http://twittercounter.com>

(8) 公式ガイドブック

- 「美術手帖」(美術出版社) 2010年6月号増刊、6月15日発売開始
- 第6刷までで計9万2千部発行
- amazon.comの雑誌売上げランキングで、9月5日に1位を記録。
- 同ランキングでは、6月12日以降連続100日以上100位以内を記録している。



(9) 来場者の情報源

- アンケート結果で見ると、芸術祭を何で知ったかについては、雑誌が3割、テレビが2割などとなっている。
- いわゆる口コミについては、アンケートの選択項目ではなかったが、全体の2割が口コミで知ったと回答している。

情報源(重複回答)	比率
雑誌	31.7%
TV	21.1%
口コミ	20.7%
新聞	18.8%
インターネット	18.8%
その他	13.6%
回答数	11,212

* 口コミは自由記載からの拾い上げ

9. こえび隊の状況

- こえび隊の登録人数(11/1 時点)は、2,606 人である。
- 47 都道府県のうち 39 都道府県からの参加があった。
- 運営時に関わった人数（実働人員）は約 700 人、延べ約 5,000 人となる。これに作品制作時を含めると、実働 800 人、延べ 8,500 人程度が参加した。
- 全体の約 7 割が女性で、平均年齢は 30.3 歳となっている。

== [男女比] =====
 男性：742 (28.5%)
 女性：1864 (71.5%)

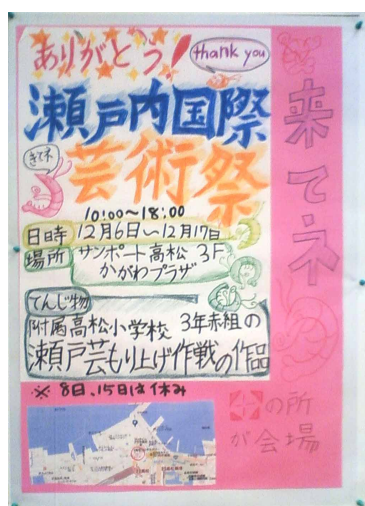
== [平均年齢] =====
 約30.3歳

年代別	男	女
0歳代	8	20
10歳代	43	108
20歳代	256	874
30歳代	155	374
40歳代	84	119
50歳代	53	57
60歳代	40	15
70歳代	4	2
80歳代	1	0
不明	98	295
合計	742	1,864

府県名	人数	割合
北海道	4	0.2%
青森県	1	0.0%
宮城県	3	0.1%
福島県	2	0.1%
茨城県	8	0.3%
栃木県	4	0.2%
群馬県	3	0.1%
埼玉県	39	1.5%
千葉県	21	0.8%
東京都	247	9.5%
神奈川県	101	3.9%
新潟県	8	0.3%
富山県	1	0.0%
福井県	4	0.2%
山梨県	4	0.2%
長野県	7	0.3%
岐阜県	4	0.2%
静岡県	7	0.3%
愛知県	22	0.8%
三重県	4	0.2%
滋賀県	16	0.6%
京都府	111	4.3%
大阪府	157	6.0%
兵庫県	143	5.5%
奈良県	18	0.7%
和歌山県	5	0.2%
鳥取県	2	0.1%
島根県	1	0.0%
岡山県	429	16.5%
広島県	47	1.8%
山口県	5	0.2%
徳島県	28	1.1%
香川県	1,003	38.5%
愛媛県	71	2.7%
高知県	20	0.8%
福岡県	20	0.8%
佐賀県	2	0.1%
熊本県	3	0.1%
大分県	5	0.2%
不明	11	—
外国	15	—
合計	2,606	

- 小学生など年少者の積極的な参加や活発な活動もあった。

香川大付属高松小3年赤組の皆さんの「瀬戸芸もり上げ作戦」の活動報告の様相(H22.12.6 - 12.17、かがわプラザ)

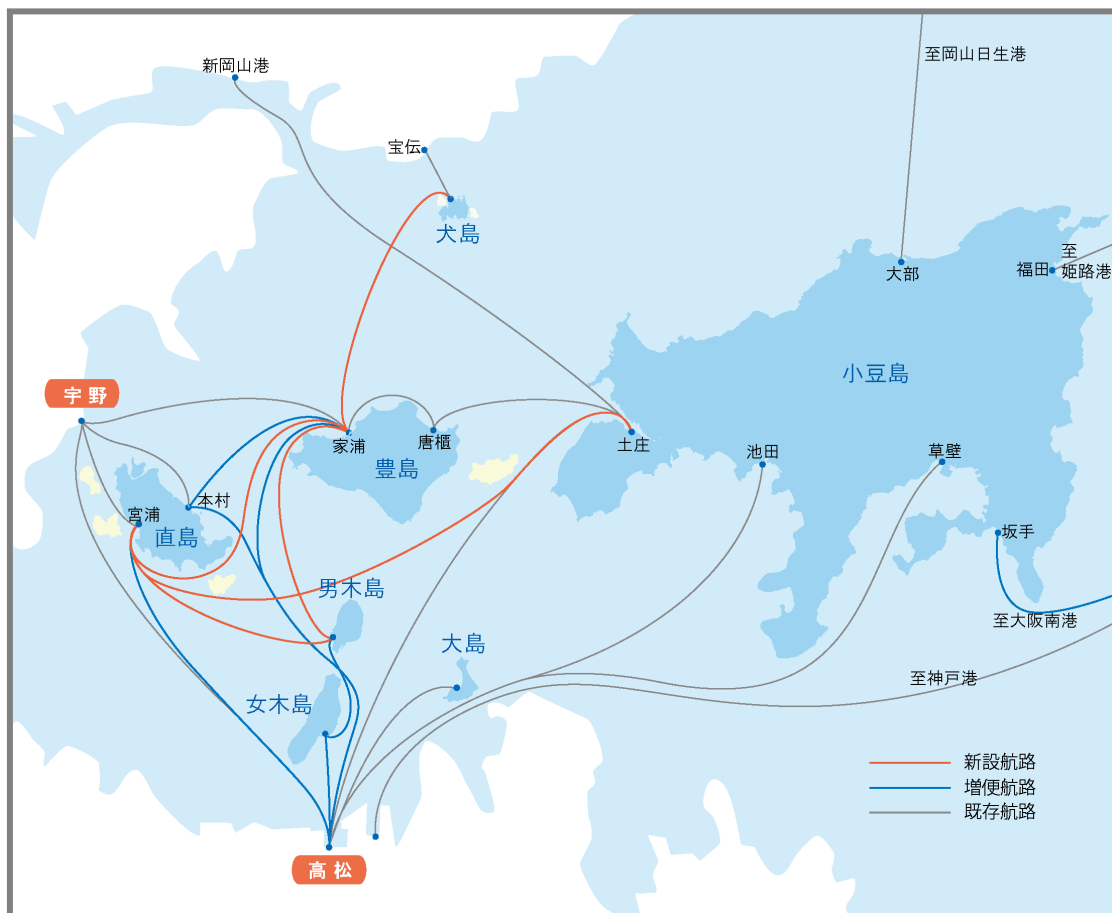


10. 交通の状況

(1) 海上交通の整備

- 瀬戸内国際芸術祭の開催にあわせ来場者の交通アクセスを確保するため、会場となる島々間や母港となる高松港を結ぶ航路につき、芸術祭会期中、3区間で新設定期航路を開設し、4区間で既存定期航路の増便を図った。
- 会期中は、予想を上回る来場者数となったため、高松＝女木・男木間、高松＝豊島間、高松＝直島間などで、付け船や臨時便での対応、旅客定員の拡大などを、各事業者において実施した。
- さらに、乗船時の混雑緩和のため、整理券の発行などの対応を行ったが、9月、10月の土日祝日などでは、乗船のために長時間待たなければならない事例や、希望する船便に乗れない事例が発生した。

会期中の新設・増便航路



新規定期航路

運航区間	便数/1日	運航事業者名
直島(宮浦)⇄男木島⇄豊島(家浦)	3 便	四国汽船(株)
直島(宮浦)⇄豊島(家浦)⇄犬島	3 便	四国汽船(株)
小豆島(土庄)⇄直島(宮浦)	3 便	(株)マリン観光汽船

既存定期航路の増便

運航区間	増便後の便数/1日	運航事業者名
高松⇄直島(宮浦)	8.5 便	四国汽船(株)
高松⇄女木島⇄男木島	9 便	雌雄島海運(株)
高松⇄豊島(家浦)及び 高松⇄直島(本村)⇄豊島(家浦)	5 便	(株)豊島フェリー
小豆島(坂手)⇄大阪(南港)	1 便 *	(株)フェリーさんふらわあ

*運航日が昨年比で 36 日増加

(2) 島内交通の整備

- 海上交通の整備にあわせ、各島内での来場者の交通手段を確保するため、豊島において土庄町が新たに循環バスの整備を行ったほか、直島、小豆島、女木島において、主要港と作品会場等を結ぶバス路線の増強が図られた。
- 犬島へのアクセスを強化するため、岡山駅＝宝伝港間でバスを運行した。
- バス輸送においても、予想を上回る来場者数により当初の運行予定台数では対応できなくなったため、適宜、付けバスや臨時便での対応を行ったが、9月、10月の土日祝日などでは、希望する便に乗車できない事例が発生した。

運行区間		便数/1日	運行事業者名
新設	豊島 島内循環無料バス	27 便	土庄町
	岡山駅⇄宝伝港	3 便	両備バス
追加	直島 宮浦港⇄地中美術館など	12 便	芸術祭実行委員会
	小豆島 土庄港⇄肥土山・中山⇄池田港⇄草壁港など	10 便	小豆島オーリーブバス
	女木島 女木港＝大洞窟	9 便	鬼ヶ島観光自動車

(3) 『芸術祭フリー乗船2日券』

- 来場者の海上アクセスを向上させ、会場となる島々をより多く巡ってもらうための仕組みとして、関係旅客船事業者 8 社と共同して「芸術祭フリー乗船2日券」を発行した。
- 芸術祭の玄関となる高松港と宇野港から会場となる 6 つの島(大島を除く)を結ぶ航路及び各島同士を結ぶ全ての航路(11 航路 19 区間、1 日約 100 便)が対象。
- 複数の旅客船事業者が参加したフリー乗船券は、日本初の試みである。
- 期間中、3 万枚を超える利用があった。

販売実績： 大人 32,104 枚 子供 328 枚 計 32,432 枚

1.1. 実行委員会の収支状況

会期終了時点における収支状況（見込み）

1 収入

（単位：百万円）

区 分	20年度	21年度		22年度		3カ年	
	決算 A	決算見込み B	予算 C	会期終了時 D	予算 E	会期終了時 A+B+D	予算合計 A+C+E
負担金	17	150	150	191	191	358	358
香川県	10	50	50	91	91	151	151
関係市町	7	50	50	50	50	107	107
福武教育文化振興財団	0	50	50	50	50	100	100
補助金・助成金	8	9	9	11	12	28	29
寄附金・協賛金	1	64	45	87	54	152	100
グッズ等販売	0	0	0	29	29	29	29
繰入金	0	0	0	222	133	222	133
チケット販売勘定繰入金	0	0	0	222	133	222	133
その他	0	3	3	1	0	4	3
前年度繰越金	0	3	3	118	81	121	84
次年度繰越金	△3	△118	△81	0	0	△121	△84
計	23	111	129	659	500	① 793	652

2 支出

区 分	20年度	21年度		22年度		3カ年	
	決算 A	決算見込み B	予算 C	会期終了時 D	予算 E	会期終了時 A+B+D	予算合計 A+C+E
アートプロジェクト	14	62	80	378	306	454	400
作品制作関連費	13	54	71	330	270	397	354
作品制作費	0	19	37	262	223	281	260
公募費	0	4	0	0	0	4	0
総合ディレクター費	0	10	10	10	10	20	20
作品制作管理費	13	21	24	58	37	92	74
イベント開催経費	1	8	9	48	36	57	46
運営活動費	9	43	49	177	194	229	252
広報活動費	7	25	19	49	41	81	67
交通対策費	0	0	0	13	45	13	45
インフォメーション等運営費	0	0	0	28	14	28	14
ホテル運営費	0	6	6	35	31	41	37
グッズ等開発販売管理費	0	5	10	29	40	34	50
事務局運営費	2	7	14	23	23	32	39
繰出金	0	6	0	0	0	6	0
チケット販売勘定繰出金	0	6	0	0	0	6	0
計	23	111	129	555	500	② 689	652

※平成21年度及び22年度の予算は、詳細計画策定時（第5回総会/H22.3.30）のもの

収支差額 ①－②

104

12. 雇用創出の状況

- 芸術祭関連の新たな雇用創出としては、緊急雇用創出基金事業で県が272人、高松市が8人、土庄町が20人、直島町が5人の合計305人を新規に雇用した。
- この他、会期中、実行委員会の直接雇用で3人、小豆島町が2人、ベネッセ・福武財団等関係団体で51人を雇用した。

県関係

所管	事業名	雇用人数 (人)
瀬戸内国際芸術祭推進室	瀬戸内国際芸術祭における小型船の運行業務	5
	瀬戸内国際芸術祭における警備・案内業務	65
	瀬戸内国際芸術祭におけるチケット販売業務	23
	瀬戸内国際芸術祭サポーター宿泊施設の管理運営に関する業務	8
	瀬戸内国際芸術祭における海鮮市場等の管理運営事業	6
	瀬戸内国際芸術祭に関する案内業務	91
	瀬戸内国際芸術祭開催時における外国語案内業務	4
	瀬戸内国際芸術祭会期中のエコステーション運営事業	8
	瀬戸内国際芸術祭におけるアンケート業務	44
	瀬戸内国際芸術祭開催準備等に関する業務	6
県産品振興室	わがまちの特産品大集合事業業務	12
県分計(11事業)		272

市町関係

高松市	瀬戸内国際芸術祭サポート事業	8
土庄町	瀬戸内国際芸術祭豊島バス運行等委託事業	11
	瀬戸内国際芸術祭肥土山案内業務	3
	レンタルサイクル運営事業	3
	豊島「食プロジェクト」推進事業	3
直島町	道路維持管理業務	2
	港湾施設パトロール事業	3
県内市町分計(7事業)		33

合計(18事業)		305
----------	--	-----

1 3. 来場者の滞在状況等

(1) 滞在状況

- アンケートでは、県内客を含め全体の約半数が宿泊を伴う来場となっている。
- 宿泊地は、高松が半数を占め、以下小豆島、直島が多い。
- 来場者の平均滞在日数は 1.96 日、宿泊者の平均宿泊日数は 1.94 泊となっている。

滞在状況（アンケート集計）

滞在期間	比率
日帰り	51.3%
1泊	20.2%
2泊	17.6%
3泊	7.1%
それ以上	3.8%
回答数	11,248



宿泊地(重複回答)	比率
高松	55.5%
小豆島	17.4%
直島	5.3%
その他香川	20.1%
岡山	11.1%
その他	4.8%
回答数	1,715

(2) 観光地への訪問

- アンケート回答者の 4 分の 3 が芸術祭だけの来訪となっている。
- それ以外では、栗林公園、琴平など香川県内の観光地に多く訪れている。

芸術祭の他に訪れた（予定を含む）観光地

観光地(重複回答)	比率
栗林公園	9.4%
琴平	7.0%
屋島	5.3%
レオワールド	3.1%
岡山倉敷	1.9%
小豆島	1.9%
高松 *1	1.5%
丸亀 *2	0.6%
イサムノグチ	0.6%
うどん	0.5%
その他	4.1%
なし	74.1%
回答数	9,928

* 玉藻公園など、上記以外の高松市内の観光地

* 猪熊弦一郎現代美術館など丸亀市内の観光地・施設

14. 芸術祭に対する評価

(1) 島民の評価（意見交換会等から）

- 会期終了直後から、すべての島の自治会等との意見交換会を開催した。
- また、11月18日には、高松において、各島の自治会長による座談会を開催した。
- いずれの島においても、芸術祭開催について好意的に評価する声が大多数であったが、海上交通での課題や、島の経済活性化についての意見もあった。

11月1日(月)	豊島（家浦、唐櫃、甲生自治会）
11月2日(火)	直島（地元慰労会）
11月3日(水)	女木島、男木島、犬島（各自治会）
11月8日(月)	大島（自治会、大島青松園）
11月10日(水)	小豆島（肥土山、中山自治会、歌舞伎保存会）
11月18日(木)	各島自治会長による座談会

<主な意見>

直島

- 町民の関心が高く、掃除の共同作業での多くの町民があつまった。
- 住民と観光客とのコミュニケーションが多く生まれた。
- 観光客が多すぎて狭い道路では交通に不便が出た。
- 治安も心配したが、特にトラブルもなく、治安も悪くならなかった。
- 会期中は、大変な混雑ぶりで、泊まる場所もない、食べる場所もないという状況だった。
- 3年後では芸術祭の記憶も薄れてしまう。中間点で何らかのイベントをするとインパクトを与えるのではないか。

豊島

- 都会の若い人と話ができて、皆生き生きとしていた。お年寄りが元気をもらった。
- 島にこれまでにない雰囲気(若い。活気がある。刺激がある。日々変化があり楽しい。)に包まれていた。
- あらためて豊島の良さを全国の人に知ってもらい非常によかった。
- 来場者は、挨拶をよくする丁寧な人が多かった。
- 105日間、休みがなく疲れた。やらなくちゃという気持ちだけで皆で協力してやってきた。次回は、休みが必要である
- 島で飲食をする人も多く、島の経済にもある程度貢献があった。
- 田舎料理が食べたいという人が多かった。次回開催時の課題と考える。
- 3年後に芸術祭を開催することを前提として、それまでの2年間、豊島として何ができるか皆

で考えたい。

- 作家やこえび隊とのつながりを今後もずっと持ち続けていけるような仕組みを考えなければならぬのではないか。

女木島

- 島がこんなに賑わい活気づいたことはこれまでなく、本当に皆元気をもらった。
- こえび隊を含め関係者の挨拶運動が徹底しており、気持ち良かった。
- 7月、8月は若い人が多く本当にマナーが良く、ゴミもほとんど落ちていなかったが、9月から10月になると客層が変わり、マナーが悪くなった。
- 今年は特に暑く、105日は本当に長かった。次回はもう少し短くするなど期間について考えてほしい。
- 島にお金が落ちる仕組みがなかったため、島内に宿泊施設を作るなどを考えていかなければならない。

男木島

- 島始まって以来の客で、いろいろなふれあいが出来たことが嬉しかった。
- アーティスト、こえび隊とのつながりができ、これからもこのつながりを大切にしていきたい。
- 宿に迷惑がかからない程度に若い人を泊め、酒を飲みながら話しをするのが楽しみであった。
- 来場者に、声をかけ案内人になっている島民が多くいた。みんな楽しんでいた。
- 自治会が当番制で交流館で「たこめし」を販売した。105日間続けるのは大変であったが、蛸を獲る人、作る人、売る皆の協力があったから成功した。
- 会期後半になるほど、マナーがわるくなってきた。特に後半に訪れた団体客。
- 島は高齢者ばかりであり、3年後皆3つ歳を取るのも本当にやっていけるか心配だが、元気だったらぜひやりたい。
- 次回はもっと若い人に関ってもらえるようにしなければならない。

小豆島

- これだけ、若い人、女性が来るとは思わなかった。
- 小豆島に新しい風が吹いた。小豆島の観光客の層が変わった。
- 船で旅をするというコンセプトが良かったのではないかな。
- メリットが地元に戻元される仕組みを考えてほしい。
- 県道を我が物顔で歩くマナーの悪い人が、会期後半に増えた。
- 105日間は長くバタバタして終わった感じだ。
- 芸術祭に関った人はしんどい思いをしても良かったと感じているが、まったく関わっていない人も多かった。
- 地元でも今回について皆で話をして、次回をもっとよいものにしたい。

大島

- 大島には子供がいない。子供と一緒に家族連れが大勢来てくれたことに感激した。
- 大勢の人にハンセン病の施設を知ってもらったことが良かった。

犬島

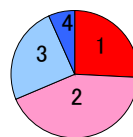
- 3年先の開催が楽しみである。また協力していきたい。
- 若い人と話ができて若返った。
- 来るひとは、皆挨拶がきちんとでき、ゴミのポイ捨てもなくマナーが良かった。
- この機会に他の島に行ってみたが、島の状況の違いに驚いた。男木島と比べると犬島がフラットで住みやすい島だとわかった。
- 多くの人に犬島を知ってもらったことが一番嬉しいことだ。

(2) 島民の評価（島民アンケートから）

- 会期後、作品を設置した島民（自治会単位）を対象にアンケートを実施し、513名から回答があった。
- 芸術祭に対する開催前の期待度は69%だったが、開催後は、88%が自分の地区に作品が設置されて良かったと回答し、82%が芸術祭は地域活性化に役立ったと回答している。
- 一方、来場者のマナーについては、20%が良くなかったと回答し、33%が芸術祭の開催で、日常生活に迷惑等を感じたと回答している。
- 実行委員会の運営については83%、こえび隊の活動については89%が良いと評価している。
- 総合的評価では、94%が今回の芸術祭は成功だったと評価している。
- 次回開催については、84%が開催への期待を表している。

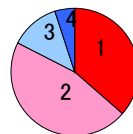
Q1 芸術祭の開催前、芸術祭が地域活性化に役立つと期待されていましたか。

1 大いに期待していた	25.7%
2 少しは期待していた	42.8%
3 あまり期待していなかった	24.9%
4 全く期待していなかった	6.6%
回答数	498



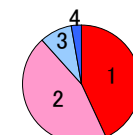
Q2 芸術祭が終わった現在、芸術祭は地域活性化に役立ったとお考えですか。

1 大いに役立った	36.3%
2 少しは役立った	46.1%
3 あまり役立たなかった	12.7%
4 全く役立たなかった	4.9%
回答数	490



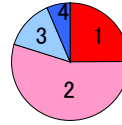
Q3 あなたのお住まいの地区に作品が設置されたことは良かったとお考えですか。

1 たいへん良かった	42.9%
2 まあまあ良かった	45.4%
3 あまり良くなかった	8.9%
4 悪かった	2.7%
回答数	482



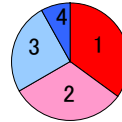
Q4 来場者のマナーはいかがでしたか。

1 たいへん良かった	24.9%
2 まあまあ良かった	54.8%
3 あまり良くなかった	14.0%
4 悪かった	6.3%
回答数	493



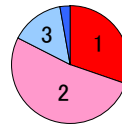
Q5 芸術祭の開催で、日常生活にご迷惑、ご負担をおかけしましたか。

1 迷惑や負担はほとんどなかった	34.9%
2 あまり感じなかった	31.8%
3 やや迷惑に感じた	25.2%
4 非常に迷惑だった	8.1%
回答数	484



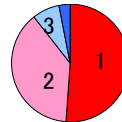
Q6 実行委員会の会場運営について、どのように評価されますか。

1 大いに評価できる	30.4%
2 ある程度評価できる	52.1%
3 あまり評価できない	14.6%
4 全く評価できない	2.9%
回答数	451



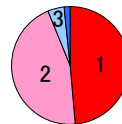
Q7 ボランティアサポーター「こえび隊」の活動について、どのように評価されますか。

1 大いに評価できる	51.2%
2 ある程度評価できる	38.2%
3 あまり評価できない	7.5%
4 全く評価できない	3.1%
回答数	455



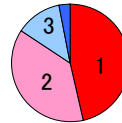
Q8 全体として、今回の芸術祭は、成功だったお考えですか。

1 大成功だった	48.7%
2 まあまあ成功だった	45.1%
3 あまり成功ではなかった	4.5%
4 失敗だった	1.7%
回答数	470



Q9 次回(3年後)の開催について、どうお考えですか。

1 ぜひ開催してほしい	46.4%
2 どちらかといえば開催してほしい	37.7%
3 どちらかといえば開催しないでほしい	12.8%
4 開催に反対	3.0%
回答数	461



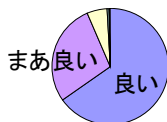
(3) 来場者の評価（来場者アンケートから）

- 作品については、9割以上が「良い」「まあまあ良い」と評価している。特に女性と若年層での評価が高い。
- 海上交通、島内交通では、「良い」「まあまあ良い」が半数を上回るが、15%の回答者が「あまり良くない」と評価している。
- こえび隊を含む運営については、8割以上が「良い」または「まあまあ良い」と評価している。
- 公式グッズについては、5割以上が「良い」「まあまあ良い」と評価している。特に女性と若年層での評価が高い。

- 総合的には、9割以上が「良い」「まあまあ良い」と評価している。特に女性と若年層での評価が高い。
- 次回の芸術祭については、4分の3が「来たい」と回答している。

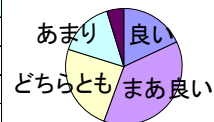
Q1 作品について

全体	
評価	割合
良い	65.3%
まあまあ良い	28.4%
どちらともいえない	5.6%
あまり良くない	0.6%
良くない	0.2%
回答数	9,971



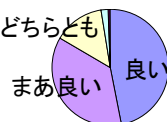
Q2 海上交通／島内交通について

全体	
評価	割合
良い	18.1%
まあまあ良い	37.3%
どちらともいえない	24.3%
あまり良くない	15.4%
良くない	4.8%
回答数	10,199



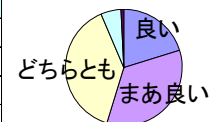
Q3 運営スタッフ(こえび隊を含む)について

全体	
評価	割合
良い	46.9%
まあまあ良い	36.3%
どちらともいえない	14.3%
あまり良くない	1.8%
良くない	0.7%
回答数	10,215



Q4 公式グッズについて

全体	
評価	割合
良い	20.2%
まあまあ良い	34.4%
どちらともいえない	39.0%
あまり良くない	5.6%
良くない	0.9%
回答数	9,638



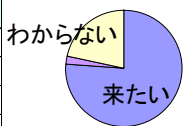
Q5 総合して芸術祭はどうでしたか？

全体	
評価	割合
良い	51.5%
まあまあ良い	39.2%
どちらともいえない	7.7%
あまり良くない	1.3%
良くない	0.3%
回答数	10,140



Q6 次回の芸術祭にも来たいですか？

全体	
評価	割合
来たい	76.2%
来たくない	2.0%
わからない	21.8%
回答数	10,237



A R T

S E T O U C H I

2 0 1 0

